病院・医療戦略

神戸から世界に発信する
強靭で柔軟な未来医療の創出と全人的人材育成

グランドデザイン

世界を見据えたinnovationを創出できる病院、国際的＆地域医療の現場で強いリーダーシップを発揮できる人材を育成できる病院へと飛躍

基本理念の達成

- 戦略性と長期展望
- 良質な医療とハブ化・国際化
- 情熱に満ちた人材の育成・輩出
- 革新的な医療イノベーション

揺るぎない財政基盤を確立
診療活動による経営安定化
外部資金の一層の獲得

病 院 戦 略 室

運　営

病院長のガバナンス強化

・病院戦略室の機能強化
・院内外の医療情報分析推進
・戦略的広報の実施
・優秀な人材の確保

診　療

病院機能・施設の戦略的再開発

・医療安全、標準化・質の向上
・地域中核病院としての機能強化
・救命救急センターの活性化
・国際医療体制の整備

教　育

人材育成支援体制の強化

・ノンテクニカル・スキル教育
・病院経営学分野の強化
・関連病院との教育連携の強化
・教育機能の評価体制の整備

研　究

臨床研究中核病院としての発展

・治験・特定臨床研究の充実
・ICCRCのリサーチホスピタル化
・医療創成工学専攻との連携
・全学組織との連携の強化

2030年までのロードマップ（病院グランドデザイン）

<table>
<tr><th>中期計画期間</th><th colspan="6">第4期</th><th>第5期</th></tr>
<tr><th>年度</th><th>2022年度</th><th>2023年度</th><th>2024年度</th><th>2025年度</th><th>2026年度</th><th>2027年度</th><th>2028～2030年度</th></tr>
<tr><td rowspan="4">【運営】
戦略性と長期展望</td><td colspan="6">病院戦略室の機能強化による病院長がリーダーシップを発揮できる体制の強化、グランドデザインの評価体制の整備</td><td rowspan="16">神戸から世界に発信する
未来医療の創出と全人的人材育成</td></tr>
<tr><td colspan="6">ビッグデータ集積拠点となり、円滑でシームレスな診療ネットワークを構築するのみならず、経営力強化のための医療情報分析を展開</td></tr>
<tr><td colspan="6">あらゆるステークホルダーに対して附属病院の理念・ビジョンを浸透させ、医療の質、患者・職員満足度の向上と病診（病病）連携を深化</td></tr>
<tr><td colspan="6">職員満足度の向上と人材育成支援の双方から、魅力ある職場を構築し、優秀な人材を確保</td></tr>
<tr><td rowspan="4">【診療】
良質な医療とハブ化・国際化</td><td colspan="6">提供する医療サービスの結果を向上させ、患者満足度に寄与できるよう、医療安全の徹底、業務標準化の促進、医療の質を向上</td></tr>
<tr><td colspan="6">高度急性期病院の役割を維持・発展できるよう、病院戦略室の主導の下、中長期的な戦略的投資を実施</td></tr>
<tr><td colspan="6">二次、三次救急の受け入れを加速させ、地域医療に積極的に貢献</td></tr>
<tr><td colspan="6">IT技術を含むインバウンド医療体制の拡充、神戸医療産業都市との連携深化等による国際医療機能の強化</td></tr>
<tr><td rowspan="4">【教育】
情熱に満ちた人材の育成・輩出</td><td colspan="6">ノンテクニカル・スキル教育の充実による医療安全の強化と人間性豊かな医療人を育成</td></tr>
<tr><td colspan="6">医療経営をリードする人材を育成できる体制の整備を図るとともに、これを基礎とした附属病院の経営戦略を構築</td></tr>
<tr><td colspan="6">基幹関連病院との教育連携を密にすることで人材育成と臨床研究の双方を活性化</td></tr>
<tr><td colspan="6">人材育成支援に関する施策が目的を達成できているかを定期的にチェックするとともに、フィードバックを実施</td></tr>
<tr><td rowspan="4">【研究】
革新的な医療イノベーション</td><td colspan="6">臨床研究を行う医師を強力にサポートできる体制整備を図り、医師主導治験や特定臨床研究の件数を増加</td></tr>
<tr><td colspan="6">保険診療にとどまらず、院内に企業ラボを誘致し、医療産業都市機能を取り込み、リサーチホスピタル化を加速</td></tr>
<tr><td colspan="6">医療創成工学専攻との連携により医療機器開発をリードできる人材育成を積極的に支援</td></tr>
<tr><td colspan="6">全学組織との連携強化による新たな研究分野の開拓を通じ、研究力強化や外部資金の一層の獲得</td></tr>
</table>

「世界最高水準の教育研究拠点」を目指して

－　臨床研究中核病院としての役割　－

- **研究大学としてのステータス向上**
  トップジャーナルへ掲載される臨床研究論文数の増加
  「研究大学強化促進事業」継続への指標面貢献
- **国民利益の増大につながる研究の増加**
  医師主導治験、先進医療を通じた薬事承認/保険医療化の推進
  学内で行われるライフサイエンス研究の成果の実用化促進
- **大学の運営基盤の安定化**
  臨床研究等に関連した収入増加によるサステナビリティーの確立
- **国際臨床研究開発拠点の形成**
  オール神戸による国際共同治験のハブ機能の強化
  ガイドラインに貢献する医療エビデンスの創出
- **優れた研究支援人材の育成・輩出**
  臨床試験の高品質化のさらなる推進
  関西地区を中心とした幅広い他施設支援のノウハウ蓄積
- **世界に向けた先端医療技術の創出・普及**
  早期・探索的臨床試験実施体制の構築とさらなる推進
  本学が世界をリードする技術(核酸医薬、経口癌ワクチン等)の早期実用化

医学のR&Dライフサイクル

＜製品開発プロジェクトの推進＞

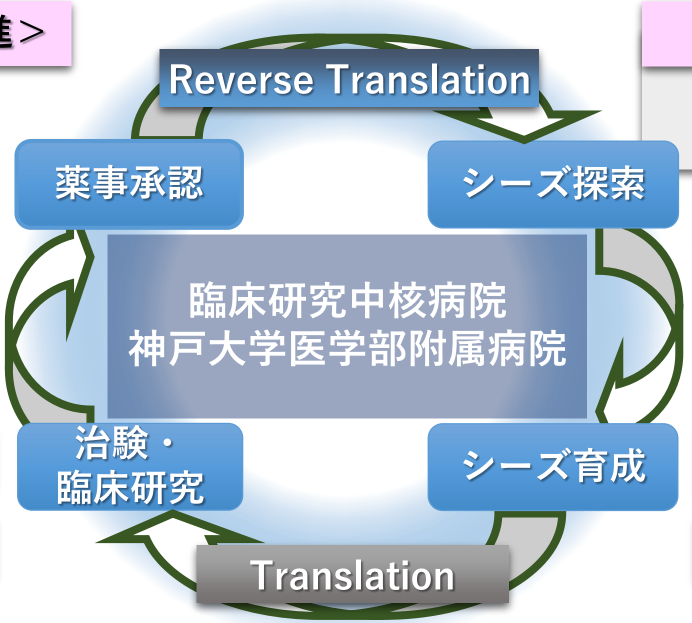
臨床研究の高品質化
中核病院要件の維持と発展

＜総合力＞

総合大学の強みを生かした
強力な連携体制による研究開発推進

＜シーズ発掘＞

学内連携



＜国際共同治験の推進＞

＜地域連携による大規模試験推進＞

＜医工連携によるものづくり＞

＜希少疾病を対象とした創薬＞

臨床開発シーズの確保と発掘

2030年までのロードマップ

中期目標期間	第4期						第5期
年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028～2030年度
研究大学としてのステータス向上	トップジャーナルへ掲載される臨床研究論文数の増加（Top10％論文数の増加）						国内外をリードする臨床研究を支えるARO機能の構築
	「研究大学強化促進事業」継続への指標に貢献する研究の増加（科研費、国際共著論文、Top10％論文数、産学連携による技術移転及び共同研究の増加）						
国際臨床研究開発拠点の形成	GPM（グローバル・プロジェクト・マネージャー）の養成		オール神戸による国際共同治験のハブ機能の強化（主導する国際共同治験の立ち上げ１件以上）				グローバル治験への国際協力体制の確立
	国内外のガイドラインに貢献する医療エビデンスの創出（３件以上）						
国民利益の増大につながる研究の増加	医師主導治験、先進医療を通じた薬事承認/保険医療化推進（薬事承認/保険収載３件以上）						基礎から臨床まで一貫した研究パイプラインの蓄積
	学内で行われるライフサイエンス研究の成果の実用化促進（臨床試験への導入５件以上）						
優れた研究支援人材の育成・輩出	臨床試験の高品質化のさらなる推進（臨床研究中核病院の人員要件となる人材の育成）						関連医療機関への優れた研究支援人材の供給
	神戸臨床研究アライアンスの設置・運営開始		関西地区を中心とした幅広い他施設支援のノウハウ蓄積（他施設支援実績年１５件以上）				
大学の運営基盤の安定化	臨床研究等に関連した収入増加（臨床研究推進センターの収支安定・黒字化）						強固な収入基盤に支えられたサステナブルな組織運営
	臨床研究中核病院補助事業の獲得・実施による補助金収益の増加						
世界に向けた先端医療技術の創出・普及	早期・探索的臨床試験実施体制の構築				早期・探索的臨床試験の開始と推進（新規１件以上）		革新的医療技術の標準化を目指した戦略的な国際展開
	本学が世界をリードする革新的医療技術(核酸医薬、経口癌ワクチン、最先端手術ロボット等)の早期実用化と普及（薬事承認/保険収載3件以上）						

リサーチホスピタルの展開
～国際がん医療・研究センター（ICCRC）～

2030ビジョン

先進的医療・革新的医療機器の開発拠点

hinotoriを核とした次世代・未来医療システムの創出

◆再生細胞医療・遺伝子治療の医療拠点

- Cell Processing Center（細胞製造・加工）による最新医療研究・開発・治療をサポート
- プロセスの自動化による医工連携（QbDに基づく品質保証）
- デザイン/スマート細胞研究開発による新規シーズの創出（神戸大学BTセンターとの連携）

◆先進的診療

・がんに対する光免疫療法

新規技術を積極的に取り込んだ医療拠点

医療現場ニーズの明確化と実装
新たな診療/管理技術の積極的導入

◆低侵襲・先進的外科手術
～プレシジョン・テレサージェリーセンター～

・内視鏡手術センター 低侵襲手術の積極推進
・ロボット手術センター 5G遠隔手術実用化に向けた臨床検証
・スペーサ手術等での放射線・粒子線治療への展開

トップレベルのリサーチホスピタルを目指す

①先進的治療
②医工連携による機器開発と人材育成
③データヘルスの推進
により世界に貢献する

◆ヘルスケア
～予防医療研究開発センター～

・ヘルスケアデータの統合解析による疾患予防アルゴリズムの開発
・パーソナルヘルス情報を活用した健常～未病～悪性疾患までのシームレスな個別化精緻検診

◆バイオバンク
～バイオリソースセンター～

・ニーズドリブン型バイオバンクでの研究・開発ニーズに沿ったヒト検体＋医療情報の収集・利活用
・リキッドバイオプシーを活用したがん予後予測

◆医工連携
～未来医工学研究開発センター～

・新規医療材料の臨床導入
・医療創成工学専攻との連携により医療機器　開発人材および医工連携人材の実践教育と輩出

神戸医療産業都市でのイノベーション創出・地域活性化

神戸未来医療構想を継続し、就労機会の創出やメディカルクラスター群との連携を強化

◆AI・デジタルヘルス対応病院

・メディカルトランスフォーメーション研究センターとの連携
・AI対応病棟の拡充
・デジタル技術を活用して国際診療を推進

2030年までのロードマップ

中期計画期間	第4期						第5期
年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028～2030年度

先進的治療

手術支援ロボット「hinotori」を核とした 次世代・未来医療システムのニーズ探索～創造

- 内視鏡手術センターでの低侵襲手術の推進
- プレシジョン・テレサージェリー・センターでの高速通信技術による遠隔手術臨床検証・手術支援ロボットへの実証研究、薬事申請目途
- スペーサー手術等での放射線・粒子線治療への展開

光免疫療法・がん免疫療法・新規治療法開発の推進

- 光免疫治療センターでの研究推進、多診療科への展開
- 再生・細胞医療・遺伝子治療の研究・開発推進、新規シーズの創出、医工連携による細胞製造機器開発

医工連携による機器開発・人材育成

神戸未来医療構想を継承し、就労機会の創出やメディカルクラスター群との連携を強化

- 新専攻設置準備 → 医療創成工学専攻（医工融合型新専攻）設置
- 新学科設置準備 → 医工融合型新学科設置（予定）
- 現場ニーズの明確化、新規医療材料の開発・臨床導入、在宅・無侵襲診断機器の開発
- 研究教育棟の増設、医療機器開発人材および医工連携人材の実践教育・輩出

データヘルスの推進

ヘルスデータの利活用

- バイオリソースセンターでの研究・開発ニーズに沿ったヒト検体・医療情報の収集と利活用・バイオマーカー同定
- ヘルスリテラシーの意思決定支援システムの実装
- リキッドバイオプシーを活用したがん予後予測モデルの構築
- ヘルスケアデータの統合解析による疾患予防アルゴリズムの開発
- メディカルトランスフォーメーション研究センターとの連携
- AI・対応病棟への拡充
- デジタル技術を活用した国際診療の推進

→ トップレベルのリサーチホスピタルを目指す

医療イノベーション創出を目指す神戸大学の医療研究拠点
～ポートアイランド神戸医療産業都市との連携～

探索研究 → 前臨床研究 → 臨床研究・治験 → 実用化・産業化

医学研究科メディカルトランスフォーメーション研究センター
【創薬研究開発拠点整備】
感染症センター
新興・再興感染症国際共同研究拠点

神戸バイオテクノロジー研究・人材育成センター
ライフサイエンス分野研究開発

未来医工学研究開発センター
工学研究科医療領域研究

国産医療用ロボット等革新的医療機器の統合型研究開発・創出拠点
先端医療機器、国産初高度外科医療ロボットの開発・実用化

医学部附属病院 国際がん医療・研究センター
・次世代医療、次世代新薬、先端医療機器、先進的外科的治療
・特殊病床（治験医療専用）体制

医学部附属病院
医学研究科 共同研究講座
【臨床試験施設整備】

㈱神戸大学イノベーション（KUI社）
大学発ベンチャー支援

（株）科学技術アントレプレナーシップ（STE社）

【GMP準拠の抗体医薬製造】
統合研究拠点アネックス棟
次世代バイオ医薬品の製造技術基盤の確立・人材育成

【臨床研究推進、管理】
臨床研究推進センター
【臨床研究体制整備】
・より高度で高い信頼性の臨床研究管理・推進体制
・臨床研究中核病院（令和3年4月承認）としての持続的発展

【基礎研究から産業化までの一貫したマネジメント体制】
学術研究推進室（URA）・産官学連携本部

県内の地域医療を支える人材の養成を図る ～地域医療活性化センターを中核として～

KOBE UNIVERSITY

兵庫県と神戸大学が一体となって、医師・看護師をはじめとする医療人材の卒前～卒後教育研修を一貫して実施することにより、県内の地域医療を支える人材の養成を図る

兵庫県

神戸大学医学部

連携

地域医療支援センター

地域医療活性化センター

2014年設置

ウェルビーイング先端研究センターおよびデジタルバイオ・ライフサイエンス・リサーチパークとの連携

- 地域医療における生命科学・医薬分野・医療経営の研究教育拠点
- 大学の知的資源を生かしたAI・IoT ・ビッグデータ解析などの地域医療への応用の研究教育拠点
- ロボット手術や高度先進医療の地域医療現場への普及の研究教育拠点
- ウェルビーイング関連の教育・研究・地域活動

県下の地域医療に貢献する
医療連携と医療情報

兵庫県養成医ユニット
（卒前・卒後ユニット）

- 兵庫県養成医・地域枠医学生に対する教育および研修支援
- 義務年限後のキャリア相談
- 活性化センターを活用した教育・研修
- 神戸大学と地域拠点病院を結ぶ臨床および教育コンテンツの配信

教育研修・技術指導・
スキルアップ

臨床基本技術トレーニングセンター
県下の医療関係者に最新の医療技術習得機会を提供
病理診断技術トレーニングセンター
病理・細胞診専門医の育成研修
先端外科医療・内視鏡トレーニングセンター
鏡視下手術、低侵襲治療、内視鏡・腹腔鏡手術、カテーテル治療などの高度な手術手技と一般外科的手技育成研修
遠隔画像診断支援センター
地域医療機関に対する遠隔放射線画像診断の支援
エキスパートメディカルスタッフ育成センター
地域医療に従事する中堅メディカルスタッフに対する高度な知識、技能習得の支援
歯科医療トレーニングセンター
県下の女性歯科医師等に対する職場復帰支援
D&Nplusブラッシュアップセンター（医学部附属病院）
女性医師等の県下医療従事者に対する職場復帰支援

活性化センターを活用し、兵庫県民の健康寿命の延伸と新たな医療基盤の創造を目指す

- D to D 遠隔医療を推進し、地域医療における診療支援、人材育成を推進
- 兵庫県下で医療従事者（休職者を含む）にICT技術を活用した教育システム（リカレント教育）の構築
- へき地を含め勤務医師・学生（県養成）のキャリア形成支援の推進を図り、在宅医療の充実の支援
- 地域医療活性化センターの教育・研修機能の活用による医療人材の資質向上
- 地域ニーズの高い分野（総合診療・救急医療・感染症等）を有機的かつ横断的に学べる生涯教育

2030年までのロードマップ（活性化センター）

<table>
<tr><th>中期目標期間</th><th colspan="6">第4期</th><th>第5期</th></tr>
<tr><th>年度</th><th>2022年度</th><th>2023年度</th><th>2024年度</th><th>2025年度</th><th>2026年度</th><th>2027年度</th><th>2028～2030年度</th></tr>
<tr><td rowspan="2">・遠隔医療の推進（D to D ）
・地域の医療支援と人材育成を推進</td><td colspan="6">遠隔画像診断支援センターを活用し、地域医療機関に対する遠隔放射線画像診断の推進</td><td rowspan="8">地域医療活性化センターは、
・次世代の地域診療支援新たな医療基盤の創造
・次世代の医療人材育成と教育の拠点となる
↓
兵庫県民の健康寿命の延伸とウェルビーイングに貢献する</td></tr>
<tr><td colspan="6">情報通信機器を活用して、病理画像、Ｘ線画像、動画等を県下医療機関と連携し、基幹病院として地域医療を支える専門医の育成、診療支援を行う</td></tr>
<tr><td rowspan="2">休職者を含む兵庫県下の医療従事者に対して、ICT技術を活用した教育システム（リカレント教育）の構築</td><td colspan="6">D&Nplusブラッシュアップセンターを活用し、女性医師や看護師等の潜在的医療従事者に対する効率的な職場復帰支援</td></tr>
<tr><td colspan="6">医学部に設置した「ＤＸ遠隔システム」を活用したリカレント教育システムを構築</td></tr>
<tr><td rowspan="2">へき地を含め勤務医師・学生（県養成）のキャリア形成支援の推進と、総合診療・在宅医療の充実の支援</td><td colspan="6">キャリア形成卒前支援ユニットで在学中の地域枠学生をきめ細かく教育学習支援を行い、一般枠学生も対象した地域医療教育の充実化を図る</td></tr>
<tr><td colspan="6">キャリア形成卒後支援ユニットで養成医の専門医取得等、きめ細かな教育、研修相談でキャリア形成を支援し、地域医療を支える医師の育成と定着</td></tr>
<tr><td>地域医療活性化センターの教育・研修機能の活用による医療人材の資質向上</td><td colspan="6" rowspan="2">・臨床基本技術トレーニングセンターを活用し、県下の医療関係者に最新の医療技術習得機会を提供（幅広く継続的な人材育成）
・先端外科医療・内視鏡トレーニングセンターを活用し、県下の医師に対し、鏡視下手術、低侵襲治療、内視鏡・腹腔鏡手術、カテーテル治療などの高度な手術手技と一般外科的手技育成研修（高度・専門的な医療技術の普及）
・エキスパートメディカルスタッフ育成センターを活用し、地域医療に従事する中堅メディカルスタッフに対する高度な知識、技能習得の支援と指導者育成
・兵庫県地域医療支援センターと連携し、地域の医療ニーズの把握と提供体制の提言</td></tr>
<tr><td>地域ニーズの高い分野（総合診療・救急医療・感染症等）を有機的かつ横断的に学べる生涯教育を提供</td></tr>
</table>